

## 新川右岸排水機場の更新による効果

### ○更新の必要性

既設新川右岸排水機場は、昭和28年度に建造されてから58年を経過し、老朽化によるポンプ及び弁グランド部からの漏水、主軸（ポンプスリーブ）のすり減り、除塵機の腐食等が著しく進行している状況であり、運転上の不安が増大しておりました。また、設置年が古いため在庫部品がなく迅速な復旧が困難な事態となっていました。土木構造物も、建屋部及び地下ポンプ室ともクラックやコンクリートのはがれ、鉄筋の腐食、漏水等の劣化現象がみられたため、このまま運転を継続すればポンプ停止の重大事故発生につながる事が想定されることから、更新を行う緊急性が高くなっていました。

このため、平成21年12月から現在の新川右岸排水機場の隣に、新たな排水機場を建設してきたものです。

### ○更新の効果

今回の更新により、ポンプ停止等の重大事故が回避され、将来にわたって信頼性や安全性の高い運転を確保することができます。



旧新川右岸排水機場



新川右岸排水機場(右側が新機場)



ポンプケーシングの腐食状況



新機場のポンプ設備